

|               |                                |     |                       |      |    |
|---------------|--------------------------------|-----|-----------------------|------|----|
| 製品名又はサービス名    | 人工頭脳エンジン                       |     |                       |      |    |
| 販売会社名         | (株)言語理解研究所                     |     |                       |      |    |
| 製品に関するお問い合わせ先 | 総務部<br>E-mail : info@ilu.co.jp | URL | http://www.ilu.co.jp/ | 採択年度 | 18 |

### ■製品概要

試作評価版の対話理解エンジンは、約1年間ライセンス販売され、多くの改善知見を得て、人工頭脳ロボット研究開発事業名で製品化を推進しています。並行して、コミュニケーションロボットの音声対話理解システムについては、システムの中核である意図理解（感性や話題判定）モジュールを組み込んだ製品「コミュニケーションエクスプローラ」を平成22年10月に開発し、文書から書き手の気持ちや意図を抽出できることを実現しました（図1）。

現在も、意図理解モジュールの組み込みであるネットワーク型製品の販売を推進しています。また、サーバー側からスマートフォンなどに対話通信が可能なモバイルコミュニケーション（図2）を開発しており、音声検索と自由対話への適用を進めています。

更に、高齢者介護支援の一環で、要介護者のリハビリと介護者の業務緩和のために、高齢者の過去の記憶（自分史情報）

で対話を進めるエージェントコミュニケーション（図3）の開発を進めており、認知症の進行防止などへの有効性を評価するとともに、改善を重ねてから製品化を進める計画です。

これらネットワーク型の目的別コミュニケーション技術とあわせ、ニュースなどの新情報提供連携、エージェントの性格変化を構築するなどの課題改善を進めました。

以上のネットワーク技術の確立により、ネットワーク型製品に注力し販売を進める計画です。

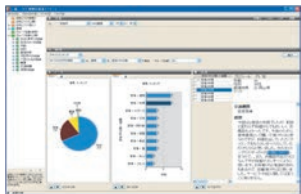


図1. 意図理解モジュールによるコミュニケーションエクスプローラの可視化表示例

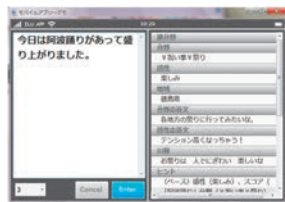


図2. 入力理解と応答文生成例（モバイルコミュニケーション）



図3. 介護支援の自分史対話例（エージェントコミュニケーション）